

せたがや風景MAPを持って
世田谷の色々な風景を探しにいこう!

合計で 86 箇所となった「地域風景資産」や「せたがや百景」をより多くの区民のみならず、皆さまに知っていただけるように、「せたがや風景MAP」を製作しました。A1サイズの大きな地図で、裏面には地域風景資産の写真一覧を掲載。コンパクトに折り畳んで持ち歩くことができます。区役所等で配布中です。



【まち歩きコース例 < 昨年企画したコース >】

①世田谷発まちなかの魅力再発見コース

< 国分寺崖線の自然や地形を楽しむことができます >

成城学園前駅 → 打越橋 → 大蔵の四季が溢れ出す妙法寺の境内 → 石井戸（大蔵）の愛宕山 → 岡本の富士見坂 → 岡本民家園 → 旧小坂邸別邸と崖線庭園 → 瀬田アートトンネル → 二子玉川駅 【約7km】

②世田谷今昔物語・まちめぐりコース

< 招き猫からサザエさんまで、まちの魅力を巡ります >

豪徳寺駅 → 古道・滝坂道 → 世田谷八幡 → 宮坂地区会館 → 豪徳寺参道の松並木 → 世田谷城趾公園 → 代官屋敷 → 実相院 → 弦巻プロムナード → 教育センター → 双子の給水塔の聳え立つ風景（駒沢給水塔） → 松林と大櫓のある世田谷新町公園 → 桜新町駅 【約5km】

いつかの風景
ここはどこ?



果物屋の看板が見えるその先に続く商店の数々?今では地下にホームを設置している、とある駅前の昭和 30 年代の風景です。さてそれはどこの駅でしょうか? ※答えは3ページ

東京農業大学の正門の門柱

せたがやの隠れた風景 12

東京農業大学(以下、農大)の有名な応援歌・通称「大根踊り」は、「青山ほとり常磐松」で始まります。この歌詞が作られたのは、農大の校舎が渋谷(青山の旧常磐松町)にあった頃で、現在の桜丘一丁目に校舎を構えたのは戦後になります。

戦時中、常磐松校舎がB29により大きな被害を受け、授業再開の目途が立たなかったため、陸軍の機甲整備学校の払い下げを受けて現在地へ移転しました。正門の門柱はその時代からあるもので、今でも当時の面影を残しています。

大学関係者は、まだ正式な払い下げを受ける前も、一日も早く授業を再開させるため、門に米軍の番兵が立つ中授業を行っていた時期もあったそうです。移転当初の機甲整備学校跡は荒廃していましたが、正門を入った学生たちは、学問が戻った喜びを嘖みしめたといひます。



陸軍機甲整備学校
当時の
正門

現在の
正門

※資料および写真提供：東京農業大学

東京農業大学正門 桜丘1丁目1番1号

バックナンバーは

世田谷区 風景づくり通信 検索

風景づくりについてのお問い合わせは...

世田谷区都市整備部都市デザイン課

電話：5432-2039 FAX：5432-3023

せたがや 風景 × ひと × 活動
風景PRESS



行き交う人々の共有空間として生まれた道が住宅街の中にある

世田谷区の都市デザインを巡る vol.5 道づくりでまちづくり

桜丘プロムナード



通勤・通学や散歩など桜丘の多くの人が行き交う桜丘プロムナード

通勤・通学の人たちが西原公園を抜け、桜丘区民センター脇の並木道を通り、千歳船橋駅へ向かう。「桜丘プロムナード」の日常的な朝の風景です。

「桜丘プロムナード」は、昭和61年(1986)、桜丘区民センターの建設に伴って取り組まれた「まちづくり計画」から生まれました。その時のテーマの一つが「快適で安全な歩行空間をつくる」ことでした。建物の敷地と道の境界のデザインを工夫し、舗装を同じものにする事で道に広がりを持たせ、幅員6mの周辺道路の電線類を地中に埋め、代わりに桜丘の地名にちなんだサクラの木が植えられました。また、地域の方々との話し合い



完成した当時の広場空間

により、区民センターの敷地の3分の1を広場として残したことや、隣接する都営住宅の建替えの際にも、敷地の一部を歩行者専用道にしたことなど、ここに生活する人を意識した空間づくりが行われたことで、この場所は今も地域の共有の空間として親しまれています。



路面のタイルは
当時の子どもたちが
児童館で作ったもの



通り抜け可の都営住宅内歩行者道



千歳船橋駅から
徒歩約5分

2 ページ 自転車で風景を探そう!
桜新町から西側へ

3 ページ 風景づくりアドバイザー
懇談会Part2を開催しました

4 ページ 風景コラム・イベントカレンダー
世田谷区の風景づくり情報



自転車で風景を探そう!

ちょっとたんけん 探景

世田谷区内には、各電車駅から歩いていくには少々遠い風景が少なくありません。世田谷の風景をより身近に感じるため、自転車で出かけてみませんか?

世田谷区のコミュニティサイクル「がやリン」を利用した、オススメコースを紹介します。

第5回 桜新町から西側へ

東急田園都市線と小田急線に囲まれた用賀・桜丘の風景を探し、自転車でくるり一周しました。

移動距離 約7.9km 所要時間 約2時間15分



心なごむ 桜丘の原風景

農の風景や神社、庭園等が点在しています。

馬事公苑

定期的に馬術競技会や馬と触れ合える催し等が行われている、一般に開かれた場所です。

砦公園

世田谷美術館が併設された、広大な緑のある公園。

世田谷新町公園

かつての屋敷林を彷彿とさせるマツやケヤキの木が特徴の公園。

用賀プロムナード(いらか道)

せせらぎや瓦の敷かれた道路が特徴的な道です。

旅人の像

五穀豊穡・商売繁盛を願い、大山詣をする旅人が一服しています。

スタート & ゴール IHIがやリン 桜新町ポート

区民発!

風景自慢

- ◇ 用賀商店街は、賑わいと生活を感じます。
- ◇ 馬事公苑は、サクラやケヤキやお花がとても美しいです。
- ◇ 小田急線千歳船橋駅の駅前広場は、活発なイベント利用等で賑わいがあります。

2014年6月14日に開催した「風景づくり意見交換会」の参加者に聞いた、「世田谷区内のお気に入りの風景」の一部です!



コミュニティサイクル **がやリン** を利用しました

※利用方法等、詳細は... 世田谷区 がやリン 検索

風景づくり百話 第50話

風景づくりアドバイザー制度は、風景づくり活動の推進を目的に、「界わい宣言」、「風景づくり活動団体登録」をしている団体等に対し、風景づくりに関わる実務経験や専門知識のある「風景づくりアドバイザー」を派遣する、世田谷区風景づくり条例に基づく制度です。

平成26年度 第4回 風景づくり検討会

風景づくりアドバイザー懇談会 Part.2 を開催しました!



平成26年12月20日(土)、地域での風景づくりのさまざまな課題にアドバイスする「風景づくりアドバイザー懇談会 Part.2」を開催しました。風景づくりアドバイザーは前回に引き続き「場所づくり研究所(有)プレイス」の宮地さん、「NPO法人Green Works」の木村さんをお招きし、座談会形式で、参加者の皆さんの風景づくり活動の近況報告や、活動を進める上での課題等について語り合いました。ここではその中から2つをご紹介します。

Q 若い人を活動に何とか入れたい

A 共通の土俵を用意することが大切

「若い人を活動に入れたいが、シニア世代のメンバーとうまくコミュニケーションが取れない」という悩みに対し、宮地さんは無理に一緒に活動するのではなく、若い人が参加しやすい、共通の土俵を用意することが大切だというお話をされました。烏山地域の防災関連のイベントでは、プログラムの1つに、烏山を拠点とする20代の演劇集団に防災をテーマにした芝居をお願いし、その後一緒に話し合うきっかけをつくったそうです。

Q 緑道沿いの花植えやその管理が大変

A 四季のメリハリ等を考えるとよい

「花壇に植える花苗を区の助成で年2回受け取っているが、年2回の植え替えは無駄があり、手入れも大変」という課題に対し、木村さんからは、多年草を交えた植え替え事例を紹介していただきました。季節により、花のよい時期、草の緑が映える時期等様々あり、多年草も入れてそのバランスやメリハリを考えると良いというアドバイスでした。

また、参加者全員で、それぞれが地域に活動を広げる難しさを経験しながらも、成長を続けている状況を共有することができ、大変有意義な会となりました。

今後は各団体が「風景づくりアドバイザー制度」を有効に活用し、風景づくり活動の充実を図っていただきたいと思います。

今回の 風景づくりアドバイザー紹介

場所づくり研究所(有)プレイス 宮地 成子 さん NPO法人Green Works 木村 智子 さん



街の中で「快適な場所作り」を目指します



“人が関わる花とみどりの活動の支援”をしています